

99 番の歌 数え尽くせない仲間たち

あなたは独りではありません

「私はあなたを.....必ず助ける」。イザヤ 41:10

ポイント：エホバは私たちを 4 つの方法で助けてくれます。

1-2. (ア) 大変な問題を経験するとしても独りで頑張らなくてよい，といえるのはなぜですか。(イ) この記事ではどんなことを考えますか。

とてもつらい経験をしていると、嵐の海に浮かぶ小さなボートに、独りぼっちで乗っているような気持ちになります。でも、あなたは独りではありません。優しいお父さんエホバはあなたが闘っている様子を見ていてだけでなく、そういう大変な事態を乗り越えられるよう支えると約束しています。温かくこう言ってくれています。「私はあなたを.....必ず助ける」。(イザ 41:10 恐れてはいけません。私があなたと共にいる。心配してはいけません。私があなたの神である。私はあなたを強くし、必ず助ける。私の正義の右手であなたをしっかりと支える(*つかんで離さない))

2 エホバはどのように私たちを助けてくれるのでしょうか。私たちを (1) 導き，(2) 養い，(3) 守り，(4) 慰める ことによってです。この記事ではこうした 4 つの点を考えます。どんなに大変な問題にぶつかるとしても、エホバは絶対に私たちのことを忘れたり見捨てたりはしません。あなたは独りではありません。

エホバは①導いてくれる

3-4. エホバはどのように導いてくれますか。(詩編 48:14)

3 詩編 48:14 この神は永遠に私たちの神。ずっといつまでも(if*私たちが死ぬまで)私たちを導いてくださる。を読む。エホバは、人間が自力で正しい判断をすることはできない，ということを知っています。では、エホバはどのように私たちを導いて助けてくれるのでしょうか。1 つの方法は聖書です。(詩 119:105 あなたの言葉は私の足元を照らすランプ，私の進む道を照らす光。) エホバは聖書を通して，私たちが良い決定をし，エホバに倣った考え方や行動ができるよう助けてくれます。聖書のアドバイスの通りにするなら，今も将来もずっと幸せでいられます。*「ものみの塔」2011 年 4 月 15 日号の「神の誉れとなる決定をする」という記事を参照。例えばエホバは、怒りの気持ちを捨て、いつも正直であり、周りの人を心から愛するようにと教えています。(詩 37:8 怒るのをやめ、激怒を捨てよ。腹を立てて悪を行ってはならない(if*腹を立ててはならない。害をもたらすだけだ)。ヘブ 13:18 私たちのために祈り続けてください。私たちは、鋭敏な(*曇りのない/正直な)良心を持っていると信じており、何事においても正直に行動したいと願っています。ペテ

一 1:22 皆さんは真理に従順であることによって自分を清め、その結果、偽善のない兄弟愛を抱くようになったのですから、心から熱烈に愛し合ってください。) その通りにするなら、親子や夫婦の絆は強まり、友達との関係ももっと良くなります。

4 またエホバは聖書に、私たちと同じような経験をし、同じような気持ちを味わった人たちの記録を残してくれました。(コリ一 10:13 皆さんが受けてきた誘惑は、多くの人が同じように経験してきた誘惑です。神は信頼できる方で、皆さんが耐えられないほど誘惑を受けるままにはしません。出口を設けて、誘惑に耐え切れるようにしてくださいます。ヤコ 5:17 エリヤは、私たちと同じようにいろいろな感情を持つ人でしたが、雨が降らないようにと熱烈に祈ったところ、その地域には3年半の間、雨が降りませんでした。) そういうストーリーを読み、自分の生活に生かすと、どんな良いことがあるのでしょうか。まず、大変な経験をしているのは自分だけではなく、同じような問題を乗り越えてきた人たちがいることが分かります。(ペテ一 5:9 揺るぎない信仰を持ち、悪魔に立ち向かってください。ご存じの通り、世界中にいる、信仰で結ばれた兄弟たちが、同じような苦しみを経験しています。) そして、前向きな姿勢を失わずに問題に取り組むにはどうしたらいいかも学べます。(ロマ 15:4 以前に書かれた事柄は皆、私たちを教えるために書かれました。そのおかげで私たちは忍耐でき、聖書から慰めを得られるので、希望を持っています。)

5. エホバはどんな人たちを使って私たちに導いていますか。

5 エホバは兄弟姉妹を通しても私たちに導いてくれています。*「ものみの塔」2024年2月号の「エホバの導きにこれからも従っていきましょう」という記事の11-14節を参照。例えば、巡回監督が会衆を訪問して私たちに元気づけくれます。聖書から信仰を強める話をし、会衆の絆を守れるよう助けくれます。(使徒 15:40-16:5 パウロはシラスを選び、出発した。出掛ける前に、兄弟たちは、パウロがエホバの惜しみない親切を受けるようにと祈った。41 パウロはシリアとキリキアを通過して会衆を強くした。16 パウロはデルベに、次いでルステラに着いた。そこにテモテという弟子がいた。信者であるユダヤ人女性の息子で、ギリシャ人の父親を持ち、2ルステラとイコニオムの兄弟たちから良い評判を得ていた。3 パウロは、テモテを同行させたいとの願いを述べ、その地域のユダヤ人のために彼に割礼を施した。皆は彼の父親がギリシャ人だと知っていたのである。4 一行は幾つもの町を通過して、エルサレムにいる使徒や長老たちが下した決定を守るように伝えた。5 こうして、会衆は信仰を強められ、日々、人数が増えていった。) 長老たちも会衆の一人一人がエホバとの良い関係を保てるよう気を配ります。(ペテ一 5:2, 3 皆さんに委ねられた神の羊の群れを世話してください。強いられてではなく、神の前で進んで監督として奉仕し(*進んで群れを注意深く見守り)、不当な利益を得ようとしてではなく、真剣な態度で世話しましょう。3 神の財産である(*神から委ねられた)人たちに対して威張ったりせず、群れの模範となりましょう。) 親は、子供がエホバを愛し、考える力を伸ばし、集会や伝道などに定期的に参加できるように助けています。(格 22:6 少年(*子供/若者)を彼の行くべき道に沿って育てよ。彼は年を取っても、それから離れない。) 経験を積んだ姉妹たちも若い姉妹たちを助けます。手本を示し、アドバイスを与え、温かな言葉を掛けます。(テト 2:3-5 同じように年長の女性も、神を畏れる人にふさわしい振る舞いをし、中傷せず、酒に溺れず、善いことを教えるべきです。4 そうすれば、若い女性

に次のことについて助言を与えられる(*意識させることができる/訓練を施せる)でしょう。夫を愛すること、子供を愛すること、健全な考え方をすること、貞潔であること、家事をこなすこと、善良であること、夫に従うことです。そのように行動すれば、神の言葉が悪く言われることはないでしょう。)

6. エホバに導いてもらうためには何をしなければいけませんか。

6 エホバは私たちが導くために本当にたくさんのことをしてくれています。では、エホバに導いてもらうために私たちに何ができますか。格言 3 章 5, 6 節 心を尽くしてエホバに頼れ。自分の考え(d*理解)に頼ってはならない。6 どんな道を行く時にも神のことを考えよ。そうすれば神が真っすぐに進ませてくださる。にはこうあります。「心を尽くしてエホバに頼れ。自分の考えに頼ってはならない。……そうすれば神が真っすぐに進ませてくださる」。自分ではなく神に頼るなら、エホバは私たちが厄介な問題に巻き込まれず、幸せに生きていけるようにしてくる、ということです。エホバが優しく、一人一人に合ったアドバイスをしてくれるというのは本当にうれしいことです。(詩 32:8 私はあなたに洞察力を与え、進むべき道を教える。あなたに目を留めて助言を与える。)

エホバは②養ってくれる

7. エホバはどのように養ってくれますか。(フィリピ 4:19)

7 フィリピ 4:19 あらゆるものを豊かに持っている神は、キリスト・イエスを通して、皆さんが必要としているものを十分に与えてくださいます。を読む。エホバは私たちが養ってもくれます。衣食住を賄うために一生懸命働くとき、エホバはその努力を後押ししてくれます。(マタ 6:33 ですから、王国と神から見て正しいこととをいつも第一にしましょう。そうすれば、こうしたほかのものの全ても、あなたたちに与えられます。テサ二 3:12 そのような人たちに、主イエス・キリストの名によって命じ、勧めます。人に干渉せずに働き、自分で稼いで得た食べ物を食べなさい。) 毎日の暮らしのことで心配になることもあるでしょう。でもエホバは、心配し過ぎないようにしています。(マタイ 6:25 それで、何を食べ何を飲むのだろうか自分の命のことで、また何を着るのだろうか自分の体のことで、心配するのをやめなさい。命は食物より、体は服より大切ではありませんか。の注釈 (心配するのをやめなさい: この禁止命令で使われているギリシャ語動詞の時制は、進行中の行為をやめることを指す。「心配する」に当たるギリシャ語は、あれもこれもと考えて気がそらされ、喜びを失うような心配も指す。同じ語がマタ 6:27, 28, 31, 34 に出ている。) 参照) 生活が苦しい時もエホバは私たちのことを絶対に見捨てないからです。(マタ 6:8 異国のの人々のようであってはなりません。天の父は、あなたたちが求める前から、必要とするものを知っているのです。ヘブ 13:5 お金を愛するような生き方をせず、今あるもので満足しましょう。神はこう言っています。「私は決してあなたを離れず、決してあなたを見捨てない」。) 必要なものを与える、と約束しているエホバのことを信頼しましょう。

8. エホバはダビデをどのように支えましたか。

8 エホバがダビデをどのように支えたか、考えてみましょう。ダビデがサウルに追われていた何年もの間、エホバはダビデと仲間たちに、生きていくために必要なものを与えました。その時のことを振り返ってダビデはこう書きました。「若かった私も、今は年老いた。だが、正しい人が見捨てられるのを見たことも、その子供たちがパンを探すのを見たこともない」。(詩 37:25 若かった私も、今は年老いた。だが、正しい人が見捨てられるのを見たことも、その子供たちがパン(*食べ物)を探すのを見たこともない。) あなたも、エホバに仕える人がエホバからいつも養われているのを見てきたことでしょうか。

9. エホバは災害の時もどのように必要なものを与えてくれますか。(写真も参照。)

9 エホバは、災害の時も必要なものを与えてくれます。例えば、1世紀に飢饉が起きた時、困っている兄弟姉妹の所にいろいろな地方の仲間から物資やお金が届けられました。(使徒 11:27-30 その頃、預言者たちがエルサレムからアンティオキアに下ってきた。28 その1人のアガボという人が立ち上がり、全土に大飢饉が生じようとしていることを聖なる力によって予告した。これはクラウディウスの時に実際に起きた。29 それで弟子たちは、それぞれが提供可能なものを提供し、ユダヤに住む兄弟たちを救援することに決めた。30 そしてこれを実行し、バルナバとサウロが長老たちに届けた。ロマ 15:25, 26 ですが今は、聖なる人たちに奉仕するためエルサレムに行くところです。26 マケドニアとアカイアの兄弟たちが、エルサレムにいる聖なる人たちのうちの貧しい人に寄付するため、自分たちの物を喜んで差し出しているからです。) 神に仕えている人たちは今でも、大変な目に遭っている仲間の力になろうとします。災害が起きますと、エホバは兄弟姉妹を動かして被災した仲間を助けます。食料、水、衣服、医薬品など、必要なものが手に入るようにします。家屋や王国会館を修理するために建設チームが働きます。家族を亡くしたり、家を失ったりした仲間に、聖書から慰めの言葉を伝え、心の傷をケアしている人たちもいます。* jw.org の検索ボックスに「災害救援」と入力すると、最近の救援の様子を知ることができます。



災害が起きたとき、エホバはどんなふうに慰めてくれますか。(9節を参照。)

*写真や挿絵: 自然災害に遭ったマラウイの兄弟たちが、救援物資を受け取り、仲間から力づけられている。

10-11. ボリスが経験したことから何を学べますか。

10 エホバにまだ仕えていない人にも、エホバは親切な方です。私たちもエホバに倣って、エホバの証人ではない人に対しても親切に接したいものです。(ガラ 6:10 ですから、機会がある限り、

全ての人に、特に同じ信仰を持つ兄弟姉妹に、善いことを行いましょう。) そうやって親切にすると、周りの人はエホバに引き寄せられるかもしれません。エホバの証人ではないボリスという男性のことを考えてみましょう。ウクライナの学校で校長をしていたボリスは、いつもエホバの証人の生徒に親切に接し、信条も尊重していました。ウクライナで戦争が激しくなったため、ボリスは国内のもっと安全な場所に避難することにしました。その時、エホバの証人にとても親切にしてもらいました。後にボリスはキリストの死の記念式に出席しました。自分がしてもらったことを振り返ってこう言っています。「とても優しく親身になって助けてくれました。心から感謝しています」。

11 私たちも優しいお父さんエホバに倣い、困っている人に親切にしたいと思います。その人がエホバに仕えているかどうかにかかわらず、そうしたいと思います。(ルカ 6:31 また、人からしてほしいと思う通りに、人にもし(*し続け)なさい、36 天の父が憐れみ深いように憐れみ深くありなさい。) まだエホバに仕えていない人の中にも、親切にもらったことがきっかけでキリストの弟子になる人がいるかもしれません。(ペテロ 2:12 世の人々の中でいつも立派に行動してください。そうすれば人々は、皆さんのことを悪人だと非難していても、皆さんの立派な行動を見て、検分の日に神をたたえるようになるでしょう。) たとえそうならなくても、私たちは与えることで幸せな気持ちになれます。(使徒 20:35 私は、このように真面目に働いて、弱い人たちを援助しなければならないこと、また、主イエス自身が述べた『受けるより与える方が幸福である』という言葉覚えておかなければならないことを、あらゆる点で皆さんに示しました。)

エホバは③守ってくれる

12. エホバは私たちをグループとしてどのように守ることを約束していますか。(詩編 91:1, 2, 14)

12 詩編 91:1, 2 至高者が与える隠れがに住む人は、全能者の陰にとどまる。2 私はエホバに言う。「あなたは私の避難所、私のとりで、私が頼る私の神」、14 神は言った。「彼が私に愛情を抱いたので、私は彼を助け出す。彼が私の名を知って(*認めて)いるので、彼を保護する。を読む。エホバは、私たちがエホバとの絆を守れるように助けると約束しています。サタンがどれだけ攻撃するとしても、私たちがエホバを崇拝するのをやめさせることはできません。(ヨハ 17:15 この人たちを世から取り去ることではなく、邪悪な者から守ってくださるようお願いします。)

「大患難」の時も、エホバが私たちを守ってくれると確信できます。強い信仰を持てるよう助け、グループとして生き残れるようにしてくれます。(啓 7:9 その後、私が見ると、全ての国や民族や種族や言語の人々の中から来た、誰も数え切れない大群衆が、王座と子羊の前に立っていた。その人たちは白くて長い衣服を着て、ヤシの枝を持っていた、14 それで私が見ると、全ての長老に、「それはあなたが知っておられます」と言うと、彼は私に言った。「これは大患難から出てくる人たちです。この人たちは、自分の長い衣服を子羊の血で洗って白くしました。)

13. エホバは私たち一人一人をどのように守ってくれますか。

13 エホバは私たち一人一人をどのように守ってくれますか。聖書を通して、正しいことと悪いことを見分けられるよう教えてくれています。(ヘブ 5:14 一方、固い食物(*よくかんで食べる物)

は、十分に成長した人(*大人)のためのものです。そのような人は、使うことによって識別力(*知覚力)を訓練したので、正しいことも悪いことも見分けることができます。) 聖書に書かれているエホバの考えを意識して生活すると、エホバとの絆を守ることができ、心身共に健やかでいられます。(詩91:4 神はあなたを羽で覆う(*あなたに近づく者を羽で阻む)。翼の下に、あなたは避難する。神の真実さは大盾、防壁。) エホバは会衆を通して守ってくれます。(イザ32:1, 2 1人の王が正義のために統治する。高官たちが公正のために治める。2 彼らはおのおの、風から逃れるための場所、暴風雨から避難するための場所、水のない土地に流れる水、乾き切った土地にある大岩の陰のようになる。) 会衆には、エホバを愛し、エホバに喜ばれることを行いたいと思っている仲間がいます。そういう仲間と一緒にいると、自分もエホバのために一生懸命頑張りたい、エホバを悲しませるようなことは絶対にしたくないという気持ちになります。(格13:20 賢い人たちと共に歩むと賢くなり、愚かな人たちと関わり合うと苦しい目に遭う。)

14. (ア) 私たちがどんな問題にも遭わないよう、エホバが守ってくれるわけではないのはどうしてですか。(イ) 詩編9編10節からすると、どんなことは確かですか。(脚注も参照。)

14 昔エホバは、自分に仕える人たちが危害を受けたり殺されたりしないよう守ったことがありました。でも、いつもそうしたわけではありません。聖書には「思いも寄らないことがいつ誰にでも起きる」とあります。(伝9:11 私はこの地上で次のことも知ようになった。足の速い人がいつも競走に勝つわけでも、強い人が戦いに勝つわけでもない。また、賢い人がいつも食事にありつけるとは限らない。知的な人が裕福になるとも、知識がある人が成功するとも限らない。なぜなら、思いも寄らないことがいつ誰にでも起きるからだ。) エホバに仕える人が迫害に遭い、命を落とすこともありました。エホバは止めに入ることはありませんでした。サタンがうそつきだということを証明するためです。(ヨブ2:4-6 サタンはエホバに答えた。「誰でも自分の身が一番(d*皮膚のためには皮膚)です。人は自分の命を守るために、自分が持つもの全てを差し出します。5 試しに、あなたの手を出して、彼の体に傷を負わせて(d*骨と肉にまで触れて)ください。彼はきっと面と向かってあなたを侮辱します」。6 エホバはサタンに言った。「いいだろう、あなたの手に委ねよう。ただし、命を奪ってはならない!」。マタ23:34 それで、私は預言者と賢人と教師たちをあなた方のもとに遣わします。あなた方はその中のある人を殺し、杭に掛け、ある人を会堂でむち打ち、あちこちの町で迫害します。) 今エホバに仕えている人にも同じことがいえます。私たちのぶつかる問題をエホバがなくすとは限りません。でも次のことは確かです。エホバを愛する人たちをエホバは絶対に見捨てない、ということです。*「ものみの塔」2017年2月号の「読者からの質問」を参照(コリ10:13/エホバは、わたしたちがどれほど耐えられるかを前もって判断し、その判断に基づいてどんな試練が生じるかを決めるということは決してないが、様々な試練を忍耐できるように必ず逃れ道を設けてくださる)。(詩9:10 あなたの名を知っている人はあなたに頼る。エホバ、あなたはご自分に導きを求める人を決して見捨てない。)

エホバは④慰めてくれる

15. エホバは、祈り、聖書、仲間のクリスチャンを通して、どのように慰めてくれますか。(コリント第二1:3, 4)

15 [コリント第二 1:3, 4](#) 私たちの主イエス・キリストの父である神が賛美されますように。神は、**温かな憐れみの父、あらゆる慰めの神**であり、**4 私たちがどんな試練に遭うとしても慰めてくださいます。**それで私たちは、**神からの慰めにより、どんな試練に遭う人をも慰めることができます。**を読む。私たちは**時々悲しく**なったり、**心配**になったり、**苦しく**なったりします。今がまさにそういう時で、**自分は独りぼっちだと感じている**人もいるでしょう。**誰も分かってくれない**と思うかもしれませんが、**分かってくれている方がいます。**エホバです。エホバは私たちの**つらい気持ち**を**理解している**だけでなく、「**私たちがどんな試練に遭うとしても慰めてくださいます**」。では、エホバに**慰めてもらうために**何ができますか。①**心から祈る**ことです。そうすればエホバは、「**人間の理解をはるかに超え**」た「**平和**」を与えてくれます。（[フィリ 4:6, 7](#) **何も心配せず、いつでも祈り、祈願を捧げ、感謝しつつ、願い(*請願)を神に知っていただくように**しましょう。7 ② **そうすれば、神からの平和が、キリスト・イエスを通して皆さんの心と考え(*知力)を守ります。**その平和は人間の理解をはるかに超えています。)**② 聖書を読んでエホバの温かい言葉を聞くと、心が安らぎます。**エホバは聖書の中で私たちへの**愛を伝え、良いアドバイスをし、希望を与えて**くれています。そういう言葉を読むと**元気になれる**。③**集会に行くと、仲間から力をもらえます。**聖書の話**を聞いた**り、**兄弟姉妹から優しい言葉を掛け**てもらえたりするからです。

16. [ネイサン](#)と[ブリシラ](#)から何を学べますか。

16 エホバは**どのように聖書を通して慰め、力づけて**くれるのでしょうか。アメリカの**ネイサン**と**ブリシラ**について考えてみましょう。**数年前、2人は伝道者がもっと必要な場所へ引っ越し**しました。ネイサンはこう言います。「**エホバが助けてくれて、全部順調に進むと思って**いました」。でも**引っ越した後、体調を崩し、仕事を見つけるのにも苦労**しました。**結局、2人は以前いた所に帰る**ことにしました。その後も**お金の苦労は続**きました。ネイサンはこう言っています。「**エホバのために頑張ったのに、どうしてうまくいかない**んだろう、と思いました。**何か悪いことをして**しまったんだろうか、とさえ考えるようになりました」。でも**後になって、2人はエホバが大変な時も支えてくれていたことに気付**きました。ネイサンは当時を振り返り、こう言っています。「**そのつらい時期ずっと、聖書はまるで信頼できる友達のように、いつも的確なアドバイスをし、励ましの言葉を掛けて**くれました」。こうも言っています。「**つらい状況そのものではなく、エホバがどのように助けてくれているかに目を向けることは大切**だと思います。**この先どんなに大変なことがあっても、エホバがそばにいてくれるので大丈夫と思える**ようになりました」。

17. [ヘルガ](#)は兄弟姉妹からどのように慰めてもらいましたか。（写真も参照。）

17 **兄弟姉妹からも慰めてもらう**ことができます。ハンガリーの**ヘルガ**姉妹について考えてみましょう。姉妹は**何十年もいろいろなつらい経験**をしました。**ストレスに押しつぶされそう**になり、**自分に自信が持てなくな**ったことがありました。でも、その時のことを**振り返って**みると、エホバは**会衆の兄弟姉妹を通して慰めてくれていた**ことに気付きました。姉妹はこう言っています。「**仕事や病気の子供の世話やほかのいろいろなことでいっぱいになっていた時も、エホ**

バはいつも助けてくれていました。この 30 年、エホバが支えてくれなかった日は一日もありません。仲間たちが優しくて思いやりのある言葉をよく掛けてくれました。エホバが力づけてくれている、と思いました。ぴったりのタイミングで、温かくねぎらってくれるメッセージやカードを受け取ったことが何度もありました」。



エホバは兄弟姉妹を慰めたいと思っています。あなたにはどんなことができますか。(17 節を参照。)

18. 周りの人を慰めるために何ができますか。

18 私たちもエホバに倣って人を慰めることができます。どのようにでしょうか。話をじっくり聞き、優しい言葉を掛け、相手が何をしてほしいと思っているかを考え、実際にしてあげることができます。(格 3:27 あなた(*あなたの手)に助ける力があるときに、善を行うべき相手(*受けるべき人)にそうせずにはいられない。) つらい目に遭っている人がいるなら、慰めてあげましょう。相手がエホバの証人であっても、そうでなくてもです。近所に不安や悲しみを抱えていたり、病気で苦しんでいたりする人がいれば、家を訪ね、話を聞き、聖書から力が湧いてくる言葉を伝えるようにしましょう。「あらゆる慰めの神」エホバに倣うなら、大変な思いをしている兄弟姉妹が頑張り抜けるよう助けることができます。それだけでなく、エホバに仕えていない人たちの心を和らげ、エホバに引き寄せられるかもかもしれません。(マタ 5:16 同じように、あなたたちの光を人々の前に輝かせなさい。そうすれば、人々はあなたたちの立派な行動を見て、天にいる父をたたえるでしょう。)

エホバはいつもそばにいてくれる

19. エホバは私たちにどんなことをしてくれますか。そのエホバにどのように倣えますか。

19 エホバのことを思い、エホバのことが大好きな人たちを、エホバもとても大切にしています。私たちが苦しい思いをしている時、エホバはすぐそばにいてくれます。親は子供に愛情をたっぷり注いで世話します。エホバも同じです。私たちを導き、養い、守り、慰めてくれます。私たちも優しいお父さんエホバに倣い、つらい目に遭っている人を支え、力づけてあげたいと思います。この先どんな大変なことやつらい試練にぶつかるとしても、エホバが必ず一緒にいてくれます。エホバがこう約束しているからです。「恐れてはいけない。私があなたと共にいる」。(イザ 41:10 恐れてはいけない。私があなたと共にいる。心配してはいけない。私があなたの神である。私はあなたを強くし、必ず助ける。私の正義の右手であなたをしっかりと支える(*つかんで離さない。)) 本当に心強い言葉です。あなたは独りではありません。

エホバはどのように...

1. 導いてくれますか。

・S03 エホバは聖書を通して、私たちが良い決定をし、エホバに倣った考え方や行動ができるよう助けてくれます。聖書のアドバイスの通りにするなら、今も将来もずっと幸せでいられる。

・S04 エホバは聖書に、私たちと同じような経験をして同じような気持ちを味わった人たちの記録を残してくれた。そういう経験を自分の生活に生かすと、①大変な経験をしているのは自分だけではなく、同じような問題を乗り越えてきた人たちがいることが分かり、②前向きな姿勢を失わずに問題に取り組むにはどうしたらいいかも学べる。

・S05 エホバはまた兄弟姉妹を通して例えば、巡回監督、長老たち、親、経験を積んだ姉妹たちを通して導き励ましてくれる。

・S06 エホバが私たちを導くためにしてくださるたくさんのお話を信頼し、自分ではなく神に頼るなら、エホバは私たちが厄介な問題に巻き込まれず、幸せに生きていけるようにしてくださる。

2. 養ってくれますか。

・S07 エホバは私たちが衣食住を賄うために一生懸命働くとき、その努力を後押しして、養ってくださる。毎日の暮らしのことで心配し過ぎず、必要なものを与えると約束しているエホバのことを信頼する。

・S08 ダビデがサウルに追われていた何年もの間、エホバはダビデと仲間たちに、生きていくために必要なものを与えたように、私たちも自分も含めて、エホバに仕える人がエホバからいつも養われているのを見てきた。

・S09 1世紀も今もエホバは飢饉や災害の時に、物資や建物の修理、心のケアなど必要なものを、組織を通して与えてくださる。

3. 守り、慰めてくれますか。

・S12 サタンがどれだけ攻撃するとしても、私たちがエホバを崇拝するのをやめさせることはできない。「大患難」の時も、エホバが私たちを守って強い信仰を持てるよう助け、グループとして生き残れるようにしてくださる。

・S13 エホバは私たち一人一人を、聖書を通して正しいことと悪いことを見分けられるよう教えてくれて、守ってくださる。また会衆の長老や仲間を通して守ってくださる。

・S14 エホバに仕える人が様々な問題にぶつかり、迫害に遭い、命を落とすがあったとしても、エホバを愛する人たちをエホバは絶対に見捨てず、守ってくださる。

・S15 エホバは私たちがどんな試練に遭うとしても、つらい気持ちを理解して慰めてくださる。そのため私たちは、①心から祈り、②聖書を読んでエホバの温かい言葉を聞き、③集会に行き、仲間から力をもらうことができる。

・S18 私たちもエホバに倣って人を慰めることができる。そのため、話をじっくり聞き、優しい言葉を掛け、相手が何をしたいと思っているかを考え、実際にしてあげるることができる。「あらゆる慰めの神」エホバに倣うなら、大変な思いをしている兄弟姉妹が頑張り抜けるよう助けることがで、エホバに仕えていない人たちの心も和らげ、エホバに引き寄せられるかもしれない。